写真で見る 15 年

① 国際会議

［WIPO加盟国総会］

1999.9.20-29

第34回WIPO加盟国総会　WIPO（スイス）

世界各国より知的財産権庁長官をはじめとした政府代表者が集まり、PCT採択のための外交会議について等広範な議題について議論を行った。

左から　近藤長官、WIPOイドリス事務局長

左から　太田長官、WIPOイドリス事務局長

2002.9.23-10.1

第37回WIPO加盟国総会　WIPO（スイス）

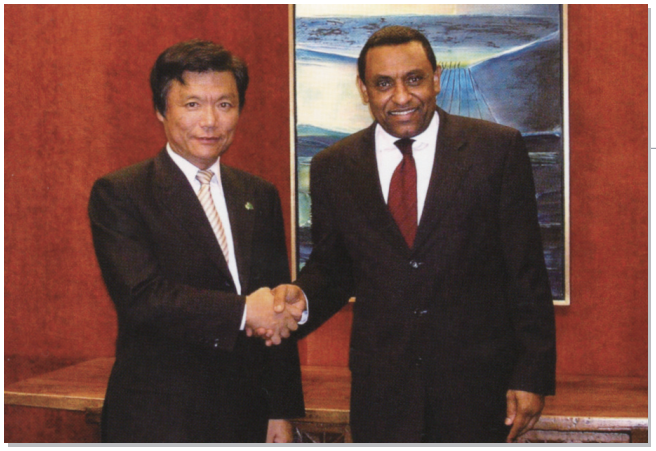
エンフォースメント諮問委員会の設立やWIPO新庁舎の建設等について議論を行った。

2003.9.22-10.1

第39回WIPO加盟国総会　WIPO（スイス）

計画予算やPCT同盟の独立会計化等について議論を行った。

左から　今井長官、WIPOイドリス事務局長、小野特許技監



左から　小川長官、WIPOイドリス事務局長

2004.9.27-10.5

第40回WIPO加盟国総会　WIPO（スイス）

開発アジェンダ策定提案や実体特許法条約草案等について議論を行った。

2005.9.26-10.5

第41回WIPO加盟国総会　WIPO（スイス）

特許制度調和や商標法条約改正採択のための外交会議等について議論を行った。

左から　小野特許技監、中嶋長官

左から　守屋特許技監、中嶋長官

2006.9.25-10.3

第42回WIPO加盟国総会　WIPO（スイス）

中嶋長官よりWIPO日本事務所の開設等につき、一般演説を行った。

2007.9.24-10.3

第43回WIPO加盟国総会　WIPO（スイス）

肥塚長官よりイノベーションと知的財産政策、開発と知的財産、WIPOへの期待の観点から一般演説を行った。

左から　藤崎寿府代大使、肥塚長官

2008.9.22-29

第45回WIPO加盟国総会　WIPO（スイス）

左から　北島寿府代大使、
鈴木長官

ガリ新事務局長が任命された、また知的財産や開発アジェンダ等について議論を行った。

2009.9.22-10.1

第47回WIPO加盟国総会　WIPO（スイス）

計画予算や遺伝資源等に関する政府間委員会の次期マンデート（権限）更新等について議論を行った。

左から　WIPOガリ事務局長、細野長官

① 国際会議

［日米欧三極特許庁長官会合］

1996.11.15

第14回三極特許庁会合　オランダ（ハーグ）

特許情報分野における協力などが合意された。

左から2人目　荒井長官、EPOコバー長官、USPTOレーマン長官

左から　伊佐山長官、USPTOレーマン長官、EPOコバー長官

1998.11.9-13

第16回三極特許庁会合　米国（マイアミ）

京都行動宣言に基づいた協力の推進。JPO-EPO間の優先権書類の電子的交換、三極共同サーチ、遺伝子特許の比較研究について議論を行った。

2000.10.30-11.3

第18回三極特許庁会合　兵庫

特許協力条約（PCT）の改善に関するワーキンググループの設置、データベースに関する意見交換、先端技術への対応等について議論を行った。

左から　及川長官、石井特許技監

左から　小野特許技監、EPOコバー長官、USPTOローガン長官

2002.11.4-8

第20回三極特許庁会合　オーストリア（ウィーン）

小野特許技監

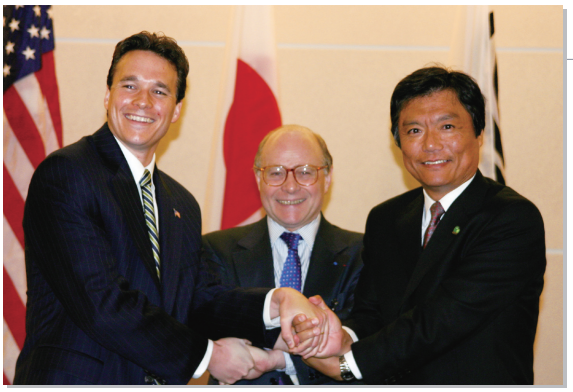
サーチ・審査結果の相互利用に関するプロジェクト、先端技術分野の特許実務に関する比較研究、三極ネットワーク、データ交換等について議論を行った。

2003.11.3-7

第21回三極特許庁会合　東京

サーチ・審査結果の相互利用に関するプロジェクト、電子包袋情報交換ネットワーク、電子出願の国際的な普及等について議論を行った。

左から　EPOコバー長官、今井長官、USPTOローガン長官



左から　USPTOデュダス長官、EPOポンピドー長官、小川長官

2004.11.15-19

第22回三極特許庁会合　米国（アレキサンドリア）

サーチ・審査結果の相互利用に関するプロジェクト、ドシエ・アクセス・システムの開発、制度調和等について議論を行った。

左から　USPTOデュダス長官、EPOポンピドー長官、中嶋長官

2005.11.14-18

第23回三極特許庁会合　ドイツ（ミュンヘン）

特許審査ハイウェイ（PPH）提案、特許審査トライウェイ提案、新ルート提案、分類調和、ドシエ・アクセス・システム、優先権書類交換等について議論を行った。

左から　USPTOデュダス長官、肥塚長官、EPOブリムロー長官

2007.11.5-9

第25回三極特許庁会合　米国（アレキサンドリア）

PPH、新ルート模擬的試行、トライウェイ試行、出願様式の統一、三極書類アクセスシステム、五庁会合のフォローアップ等について議論を行った。

左から　鈴木長官、EPOブリムロー長官、USPTOデュダス長官

2008.11.10-14

第26回三極特許庁会合　オランダ（ハーグ）

PPH、共通出願様式、審査実務の比較研究、優先権書類の電子交換等について議論を行った。

左から　USPTOカッポス長官、EPOブリムロー長官、細野長官、門川京都市長

2009.11.9-13

第27回三極特許庁会合　京都

三極間でのPPHの完成、PCT-PPHの開始、審査実務の比較研究、品質に関する取組、XML形式による電子化の推進、ワン・ポータル・ドシエ等について議論を行った。

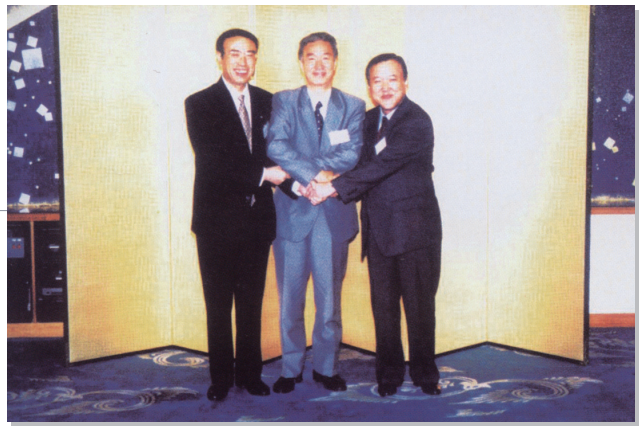
① 国際会議

［日中韓特許庁長官会合］

2001.9.11

第1回日中韓特許庁長官会合　特許庁

東京にて第1回会合が開催され、アジア及び国際社会における知的財産の発展について協議した。



左から　SIPO王局長、及川長官、KIPO林庁長

左から　SIPO王局長、KIPO金庁長、太田長官

2002.11.25

第2回日中韓特許庁長官会合　韓国（ソウル）

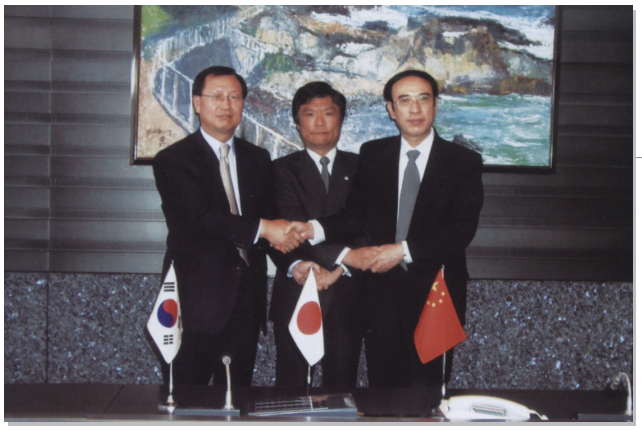
知的財産協力及び三国とASEAN各国との協力について会談を行い、機械化専門家会合の設立及び、ASEANとの人材開発における協力関係を構築することで合意された。

2003.11.14

第3回日中韓特許庁長官会合　中国（北京）

第1回日中機械化専門家会合に対して高い評価を与え、機械化専門家会合の協力案を成立させた。

第3回日中韓特許庁長官会合出席者



左から　KIPO金庁長、小川長官、SIPO王局長

2004.11.30

第4回日中韓特許庁長官会合　特許庁

最新情報の交換、今後の協力関係について展望し、知的財産に関する国際的な重要問題について意見交換した。

左から　SIPO田局長、KIPO金庁長、中嶋長官

2005.12.1

第5回日中韓特許庁長官会合　韓国（テジョン）

知的財産に関わる国際問題について意見交換が行われ、今後の協力の指針について協議した。

左から　中嶋長官、SIPO田局長、KIPO金庁長

2006.12.04

第6回日中韓特許庁長官会合　中国（北京）

三庁の協力計画について中期目標が策定された統計データ交換の充実、中小企業支援シンポジウムの開催等について議論を行った。

第7回日中韓特許庁長官会合出席者

2007.12.11

第7回日中韓特許庁長官会合　特許庁

検索結果及び審査結果の相互利用を通したワークロードの軽減を目的として作成されたロードマップに合意した。

第8回日中韓特許庁長官会合出席者

2009.3.12

第8回日中韓特許庁長官会合　韓国（テジョン）

特許審査専門家部会（JEGPE）の創設、特許法及び審査基準の比較研究、五庁基礎プロジェクトの進展、三庁協力と五庁協力の関係性等について議論を行った。

左から　KIPO高庁長、細野長官、SIPO田局長

2009.12.21

第9回日中韓特許庁長官会合　中国（西安）

IT化に関する協力の推進、特許審査協力の推進、人材育成協力に関する協力を引き続き行うことに合意した。

① 国際会議

［商標三極会合］

2002.5.2-3

第2回商標三極会合　スペイン（アリカンテ）

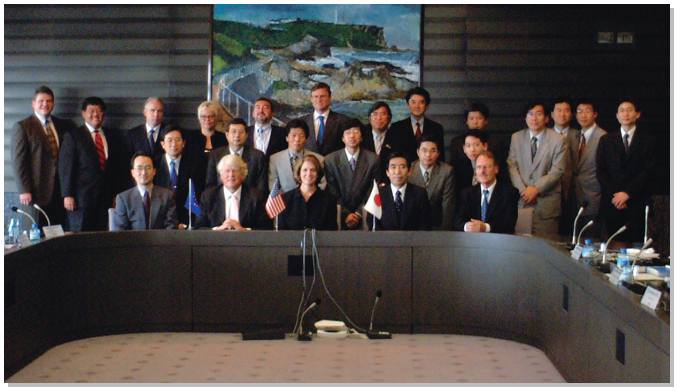
左から　及川長官、USPTOチャッサー商標担当局長、OHIMデ・ボア長官

左から　及川長官、弘田審査業務部長

分類及び情報技術問題等について議論を行った。

2003.5.27-28

第3回商標三極会合　特許庁



第3回商標三極会合出席者

太田長官　他、第3回商標三極会合参加者

三極のプロジェクト、周知商標の保護、マドリッド協定議定書等について議論を行った。

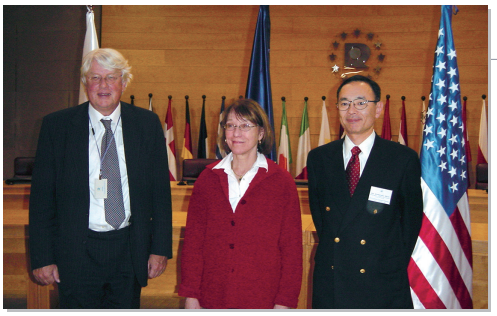
2004.5.6-7

第4回商標三極会合　米国（アレキサンドリア）

左から　OHIMデ・ボア長官、
USPTOチャッサー商標担当局長、
USPTOデュダス長官、津田審査業務部長

第4回商標三極会合出席者

商品・役務表示の標準化、情報技術問題等について議論を行った。



左から　OHIMデ・ボア長官、
USPTOベレスフォード商標担当局長、関審査業務部長

2006.12.11-13

第5回商標三極会合　スペイン（アリカンテ）

第4回商標三極会合出席者

三極商品役務表示分類便覧プロジェクト、中国との協力、マドリッド協定議定書等について議論を行った。

2007.10.15-16

第6回商標三極会合

特許庁

左から　OHIMデ・ボア長官、
USPTOベレスフォード商標担当局長、
中国商標局安局長、肥塚長官

三極商品役務表示分類便覧プロジェクト、中国との協力、マドリッド協定議定書等について議論が行われた。今会合から中国が商標三極会合にゲストとして参加した。

第6回商標三極会合出席者

前列右　武濤審査業務部長

2008.12.10-12

第7回商標三極会合

米国（アレキサンドリア）

他の知財庁・国際機関との協力、三極商品役務表示分類便覧プロジェクト、三極間の共通統計データの交換等について議論を行った。

2009.12.9-11

第8回商標三極会合　スペイン（アリカンテ）

他の知財庁及びユーザーとの関係、三極間で協力可能なプロジェクト、商標分類等について議論が行われた。中国に加え、今会合からWIPOがオブザーバーとして商標三極会合に参加した。

左から　WIPOルビオ特別顧問、OHIMデ・ボア長官、USPTOベレスフォード商標担当局長、橋本審査業務部長、中国商標局李局長

第8回商標三極会合出席者

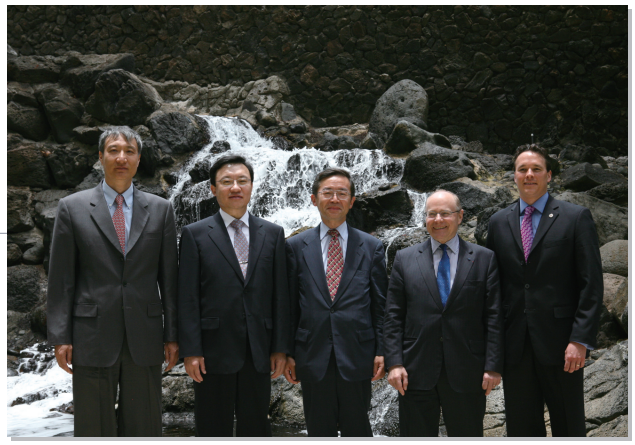
① 国際会議

［五大特許庁長官会合］

2007.5.11-12

第1回五大特許庁長官会合　米国（ハワイ）

日米欧中韓の五大特許庁間の情報共有のための枠組みを構築した。



左から　SIPO田局長、KIPO全庁長、中嶋長官、EPOポンピドー長官、USPTOデュダス長官

会合出席者

2008.10.27-28

第2回五大特許庁長官会合　韓国（チェジュ島）

左から　EPOブリムロー長官、USPTOデュダス長官、鈴木長官、KIPO高庁長、SIPO田局長

ワークシェアリングに向けた10の基礎プロジェクトを行うことに合意した。

左から　EPOブリムロー長官、SIPO田局長、鈴木長官、KIPO高庁長、USPTOデュダス長官

① 国際会議

［二国間会合等/その他］

第3回日中特許庁長官会合出席者

1996.5.10

第3回日中特許庁長官会合　特許庁

Fタームの利用についての討議、特許情報の交換を進めることで合意した。

第10回日中特許庁長官会合出席者

2003.11.15

第10回日中特許庁長官会合　中国（北京）

審査業務、特に特許審査遅延問題、人材育成、模倣品対策等の方面における協力について協議した。

左から　KIPO金庁長、小川長官

2005.1.7

第16回日韓特許庁長官会合　韓国（テジョン）

特許、意匠、商標、機械化について専門家の交流が有益であり今後も両庁間の協力を継続することに合意した。

左から　肥塚長官、SIPO田局長

2007.11.16

第14回日中特許庁長官会合　中国（北京）

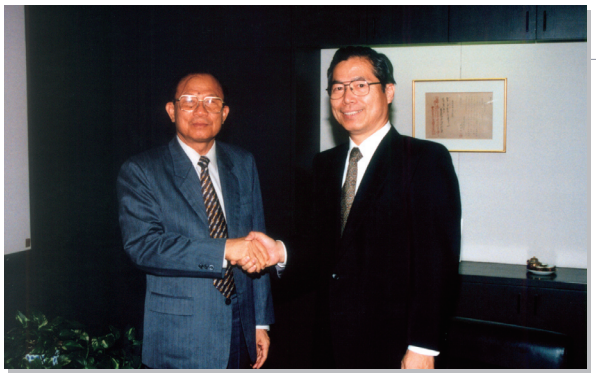
知的財産分野での協力関係を強化することにより、知的財産事業の発展を協同で促進していくことを表明した。

第21回日韓特許庁長官会合出席者

2009.12.18

第21回日韓特許庁長官会合　韓国（テジョン）

日韓の地理的表示の目録を交換すること、また日韓の人材育成機関間での協力覚書（MOC）の締結に向けて協力することで合意した。



タイ最高裁副長官と清川長官

1996.5.2

タイ国最高裁副長官表敬訪問　特許庁

タイ国最高裁副長官が表敬訪問し、知財協力について意見交換を行った。

荒井長官を囲んで

1996.11.5

タイ国知的財産局職員表敬訪問　特許庁

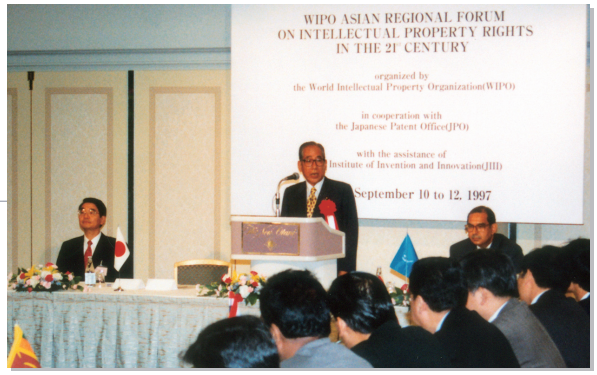
知財研修について意見交換を行った。

左から広沢総務部長、荒井長官、清水特許技監

1997.5.13

第１回日タイ特許庁長官会合　特許庁

ASEAN知的所有権の協力に関する枠組み協定の実施、知的財産権保護の水準引き上げに向け取り組んでいくことを確認した。



佐藤通商産業大臣の挨拶、左が荒井長官

1997.9.10-12

WIPOアジアフォーラム　東京

アジア22ヵ国の知財関係首脳が参加した「21世紀の知的財産権に関するWIPOアジアフォーラム」が開催された。

会場の様子

佐藤通商産業大臣を囲むフォーラム参加者

左から　WIPOイドリス事務局長、伊佐山長官、WIPO植村事務局次長

1998.7.6

植村WIPO事務局次長の誕生　WIPO（スイス）

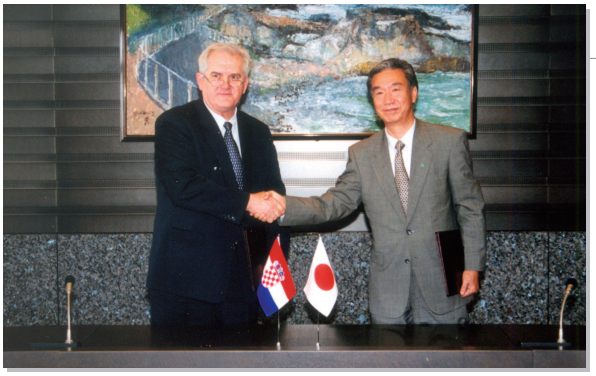
第41回WIPO調整委員会にて植村昭三前審査第四部長をWIPO事務局次長に指名するというイドリス事務局長の提案が全会一致で承認された。

会場の様子

2000.2.28-29

APEC知的財産権シンポジウム　北海道

APEC地域において知的財産権を適切にそして効果的に保護することを目指して、知的財産の活用に関することをテーマにしたシンポジウムが開催された。



コプチッチ長官と及川長官

2001.6.28

日本特許庁とクロアチア国家知的財産庁による「審査結果の使用に関する共同覚書」署名

特許庁

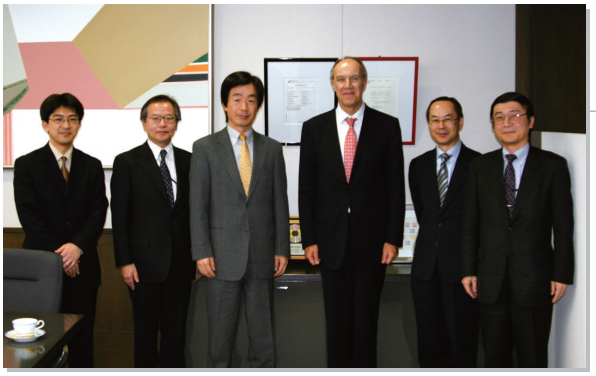
署名により日本国特許庁は、クロアチアの修正実体審査制度における所定特許庁になった。

フォーラム参加者

2001.9.12

WIPOアジア太平洋広域フェーラム　東京

アジア太平洋地域24ヵ国の知的財産庁の首脳を集めて、「21世紀の知的財産庁に期待される役割」を主テーマして開催された。



左から　3人目、鈴木長官、WIPOガリ事務局長、
WIPO高木執行役部長、南特許技監

2009.2.3

WIPOガリ事務局長の訪日　特許庁

WIPO事務局長に就任して初の来日。経団連にて講演を行った。

② 途上国支援

[途上国研修]

清川長官を囲んで研修生と講師

1996.2.16

WIPOジャパンファンド研修　特許庁

アジア各国からの研修生が来日して、日本の知財制度全般について研修を行った。

研修生たちと意見交換

1998.3.16

アジア諸国からの「1000人研修事業」
特許庁

WTO・TRIPS協定の履行期限である2000年までに、アジア諸国から官民合わせて1000名の知財分野の研修生を受け入れる人材育成事業。「1000人研修事業」を開始した。

前列右から2人目　今井長官、他研修生

2003.11

途上国研修 2003年度 JICA タイ裁判官コース
特許庁長官表敬　特許庁

途上国研修生が今井長官を表敬訪問した。

前列右から4人目　小川長官、他研修生

2004.10

途上国研修 2004年度 WIPO情報化コース
特許庁長官表敬　特許庁

途上国研修生が小川長官を表敬訪問した。

右 小川長官、左 長期研究生

2005.3

途上国研修 2004年度 特会長期研究生 修了式　特許庁

小川長官より、長期研究生に修了証書を授与した。

中央 中嶋長官、両側 長期研究生

2006.3

途上国研修 2005年度 特会長期研究生 修了式　特許庁

中嶋長官より、長期研究生に修了証書を授与した。

前列右から3人目　中嶋長官、他研修生

2006.11

途上国研修 2006年度 WIPO情報化コース 特許庁長官表敬　特許庁

途上国研修生が中嶋長官を表敬訪問した。

2008.10

途上国研修 2008年度 WIPO審査上級コース 特許庁長官表敬　特許庁

途上国研修生が鈴木長官を表敬訪問した。

前列右から3人目　鈴木長官、他研修生

中央左 麻生総理大臣、中央右（座）二階経済産業大臣、（立）細野長官

2009.10

途上国研修 2009年度　特許専門コース、インド特許審査実践コース、WIPO長期研究生 麻生総理大臣表敬　特許庁

途上国研修生が麻生総理大臣を表敬訪問した。

② 途上国支援

［専門家派遣・人材交流］

2000.4.1-2004.6.30

JICAベトナム工業所有権業務近代化プロジェクト

ベトナム

NOIP事務処理の効率化を目標に、事務処理システムの構築を通じ、人材育成を実施した。

事務処理システムの設定作業の様子

検索システムユーザートレーニングの様子
前列中央　フィアイン副長官（プロジェクト・ダイレクター）

2005.1.1-2009.3.31

JICAベトナム知的財産権情報活用プロジェクト

ベトナム

公衆からの知財情報へのアクセス向上を目指し、検索システム等の構築を通じ、人材育成を実施した。

2005.6-2007.2

JICAインドネシア知的財産権行政IT化計画調査

インドネシア

知的情報の公開にかかるDGIPRの行政サービス能力向上を目的に電子図書館を構築した。

IPDLセミナーの様子　海老原大使、ハニド法務人権大臣、DGIPRバリ総局長

会場の様子

2007.5.15

WIPOジャパンファンド事業
WIPO日本事務所・国連大学シンポジウム

東京

WIPOジャパンファンドを用いて日本およびアジア地域5ヵ国の専門家による講演、公開パネルディスカッションを行った。

エンフォースメント巡回セミナーの様子

2007.6-

JICAインドネシア 工業所有権行政改善プロジェクト

インドネシア

DGIPRに対しエンフォースメントを中心に法制度の運用・執行の改善を目的に実施した。

2009.5.26-27

WIPOアフリカファンドセミナー

南アフリカ

WIPOアフリカファンドを用いて、知的財産とビジネスを結びつける成功経験に関するセミナーを開催。経済発展のための知的財産制度整備の重要性の認識をアフリカ各国と共有した。

南特許技監の挨拶

2009.10.1-3

ロシア連邦最高仲裁裁判所フォーラム

ロシア

ロシア連邦最高仲裁裁判所が知的財産の保護に関する国際フォーラムを開催した。

中央：ロシア連邦最高仲裁裁判所イワノフ長官
中央右：米津特許審査第一部長
中央左：韓国特許法院ソン院長

2009.12.7-10

新興国知的財産制度シンポジウム　東京

新興国における知的財産権制度・運用の最近の状況の周知を図る目的で、新興国知的財産制度シンポジウム「新興国特許庁との対話」を開催した。

会場の様子

③国際的な審査協力

[特許審査ハイウェイ(PPH)]

左から　USPTOボラン国際部長、守屋特許技監

2006.5.24

日米PPHプレス発表　東京

世界で最初の特許審査ハイウェイ試行について、日米共同のプレス発表が特許庁で行われた。

プレス発表の様子

日本、デンマーク、米国、韓国、ドイツ、カナダ、オーストラリア、英国、シンガポール及びフィンランドの知的財産庁

2009.2.20

第1回プルリPPH会合　デンマーク

PPHの要件及び手続の各国間での共通化など、ユーザーの利用性を更に向上させる取組を検討した。

左から2人目　鈴木長官、DKPTOコングスタット長官

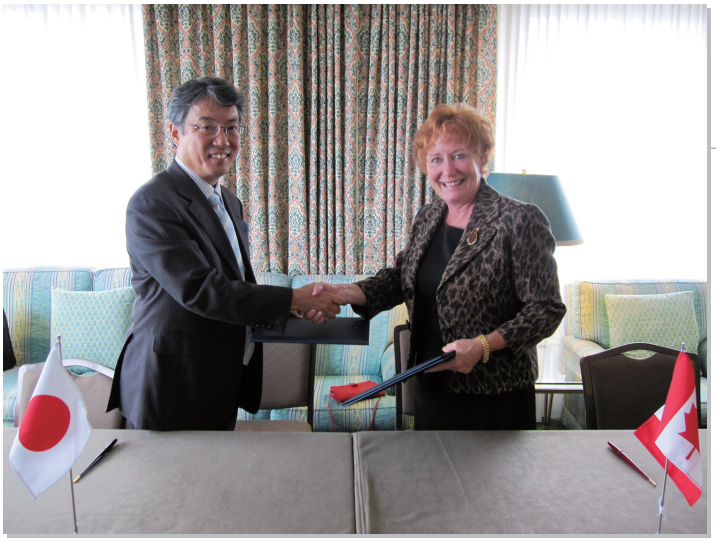
2009.6.16

日-シンガポールPPH締結

シンガポール

特許審査ハイウェイ試行の覚書を交わした。

左から　IPOSリュウ長官、鈴木長官



左から　細野長官、CIPOカーマン長官

2009.9.21

日-カナダPPH締結　スイス

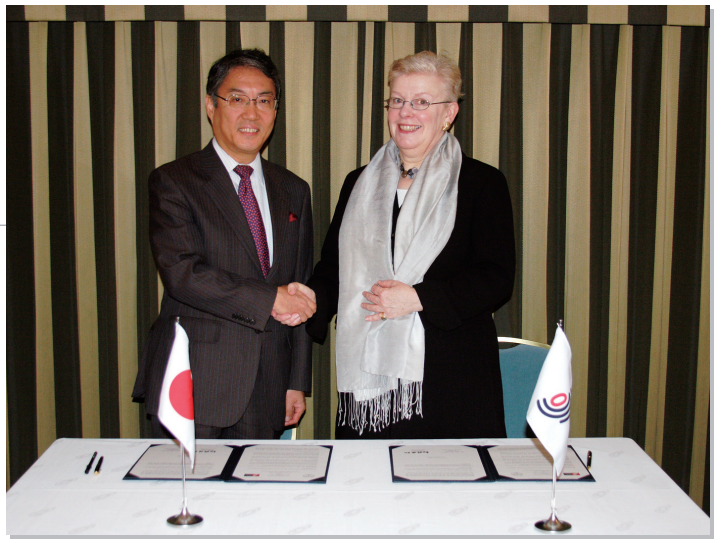
特許審査ハイウェイ試行の覚書を交わした。

会議の様子

2009.11.12

日欧PPH締結　京都

特許審査ハイウェイ試行の覚書を交わした。



左から　細野長官、EPOブリムロー長官